

山村塾は都市と農山村の住民が一緒になり、環境にやさしい米づくりや
豊かな生態系の森づくりを通じて山村の環境を守るグループです

2023年7月号



こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾通信

「ゲンゴロウ」

先日、棚田学会の現地見学会にて笠原地区を案内していたところ、福岡県では絶滅したと言われているゲンゴロウ [福岡県レッドデータブック (RDB)、絶滅危惧ⅠA類] と思われる昆虫を見つけました！？

県内では1960年に吉井町吉井（現うきは市）で採集されたのが最後の記録だそうで、「64年ぶりの大事件だ！！」とひとり大騒ぎ。Facebookにも記事を投稿していましたが、その後、専門の方の助言にもとづいて捕獲・確認したところ、おなじゲンゴロウ属のコガタノゲンゴロウ [絶滅危惧Ⅱ類] であることがわかりました。こちらも1960年頃から急速に減少していた種ですが、2000年頃から県内いくつかの地域で確認されるようになっていました。どちらも見た目はそっくりなのですが、ゲンゴロウが34.0～42.0mmに対し、コガタノゲンゴロウは20.0～29.0mmと一回り小さいのが大きな特徴です。勇み足記事に反応いただいた皆様、失礼しました。

しかし、ゲンゴロウほどレアではないものの、コガタノゲンゴロウを笠原で見たのは初めてのこと、大変記念すべき出来事でした。こういった水生昆虫は、高度経済成長期に強い農薬が大量に普及したことや水路のコンクリート化、田んぼのほ場整備などが加速し、急速に数が減ったと言われています。コガタノゲンゴロウを見つけた田んぼは、11年前の豪雨災害をきっかけに、ボランティアの助けを借りながら農薬化学肥料を使わずに管理してきた棚田です。人力での除草に加えて、米ぬか散布による抑草を試しています。冬になっても上の棚田から水がしみ出て来て石垣際のヨケ(水路)はいつもジュクジュクの湿地状態、農家さんにとっては大変面倒な田んぼですが、これまでもドジョウやミズカマキリなどの生き物を見る能够がある生き物豊かな場所でした。

こういった生き物豊かな環境は、一枚の田んぼだけでは成立しません。まわりの棚田や水路、そして森林といった豊かな自然環境のバランスがあってこそ、ひとつの小さな生き物が暮らしていくことができるのです。



↑ハイイロゲンゴロウ

…1cmくらいの小さなゲンゴロウです。この種はたくさん田んぼにいました。

[参考] 福岡県の希少野生生物 表4 カテゴリー定義 (福岡県2011版・2014版)

<https://biodiversity.pref.fukuoka.lg.jp/rdb/outlines/summary01>

[参考] 棚田学会ホームページ <https://tanadagakkai.main.jp/>



コガタノゲンゴロウ
(2023/7/18撮影、八女市黒木町笠原)

稻作コースより



今年も米づくりの季節がやってきました。

今年度最初の稻作コースは「稻の種まき」。約1000箱を目標に機械と並行して手作業でも苗箱を作りました。小さな子どもたちも真剣な表情で、苗箱に種もみをまく細かい作業に挑戦していました。この日はあいにくの雨でしたが、苗代に苗箱を運ぶ作業も行いました。泥だらけになりながら、声を掛け合い協力して、1列ちょっとを並べることができました。おかげさまで苗づくりが順調に進みました。ありがとうございました！

6月の田植えから稻刈りまで、たった4ヶ月…と考えると、あっという間のように感じます。暑くて大変ですが、この時期ならではの作業や風景を思い切り楽しみたいものです。（原 愛子）



苗箱並べ
がんばりました！
(5/7)

日付	行事名	会員	一般	WC	スタッフ	計
5/7	稻の種まき	43	1	1	8	53
6/10	田植え①	27	24	3	8	62
6/11	田植え②	30	2	3	7	42
6/18	鴨進水式	38	2	2	5	47
7/9	田の草取り・草刈り①					※雨天中止



棚田の田植え（6/10）

農家の声

皆さん、こんにちは。誠です

忙しい6月が過ぎもうすでに7月、今日は17日。7月8日にうちの田植えが無事終わりました。今、田んぼに移った苗たちは鴨と共にすくすくと育ち始めました。畑の方では6月からきゅうりの収穫、出荷が始まっています。父ちゃん母ちゃん2人も田植え時期は苗運び、今はきゅうりの収穫で忙しくしています。

今年はいろいろと役も頑張っています。団地の班長、地元消防団の会計、そして青年部という若い農家の集まりの、黒木町の部長。会議等で夜の出事が増え、年度の始まりもそうでしたが年度末には総会（と飲み会）で忙しくなりそうです。

そういえば、顔見せ会で少し話しましたが、今年は無農薬・無肥料で小豆の栽培に挑戦しようと思っています。植物のそのままの力を充分に活かし、雑草や虫に打ち勝ってしっかりと育った小豆を使ってあんこ餅を作りたいと思っています。鳥害、虫、病気、雑草対策、不安材料はたくさんあります。商品として成り立つものが出来ない可

能性もあると思っています。皆さんに「出来ました！」といつ報告できるか分かりませんが、首を長くして楽しみに待っていてください。今はまだ元気な母にあんこ餅を作ってもらっていますが、いずれは自分で、あんこを餅で包む技を習得せねばと考えています。こちらも気長にお待ちください。

暑い日が続きますが、体に気を付けながらお互い頑張っていきましょう！



稻作コース
椿原 誠



山林コースより

今年の里山ミニワーク「お茶つみ」は、4年ぶりに1泊2日の宿泊型で開催しました。昔ながらの手作業で"釜炒り茶"づくりに挑戦です。宮園家の在来茶園でお茶を手摘みし、釜で炒り、むしろの上でひたすら揉みます。どの工程も手間のかかる大変なものです。作業と並行して、民謡「八女茶山唄」に合わせて八女茶山おどり体験会も開催!「昔はみんなで唄を口ずさみながら作業していたんだろうね」と、先人たちのお茶づくりの苦労に思いを馳せました。

さて、今年は、山林コースの活動地「ケヤキ林」の植生調査を予定しています。森づくりを始めて30年の振り返りができたらと思います。秋にも森の手入れなどの活動を予定していますので、ぜひケヤキ林にお越しください! (原 愛子)



ケヤキ林での下草刈り (6/4)

今年は、霜の影響もなく4月23日からお茶摘みが始まりました。気温が低かったこともあり芽が思うように伸びず、例年よりも期間の長い収穫で5月17日までかかりました。途中、機械のトラブルもありましたが山村塾ボランティアのMJさんや健太くん等多くの方にお手伝いいただき無事に終了できました。ありがとうございました。

農家にとって一番の喜び、楽しみは、やはり収穫の時だと思います。一年を通して収穫に向けての手入れ(剪定・防除・草取り等)をするわけですから、一番忙しくてもどこかで喜びを感じていると私は思います。

しかし、人間は、機械と違って故障しても備品を変えれば使えるようになるものではなし、一年一年とりたくない年を取っていきます。一年前は難無く出来ていた事が苦痛になったり…。定年のない農家。良い所もあれば相反することのほうが多い現状ですが、身の丈に合った仕事量に調節していく必要性を強く感じているこの頃です。何でも、どうせやるんだったら楽しみながら

日付	行事名	会員	一般	WC	スタッフ	計
5/3～4	里山ミニワーク お茶つみ	13	10	1	8	32
6/4	下草刈り①	10	4	2	4	20
7/23	下草刈り②	3	0	1	3	7



揉ましゃれ揉ましゃれ…お茶の手揉み (5/3)

行動すれば結果は後からついてくる。を念頭に、自分の出来る事からの精神で草取りにはげんでいます。

また今年も、大雨の災害が出ています。数十年に一度の災害が多くの地域で起こるようになっていることを重く受け止め、自分に出来る事を自問自答する毎日です。暑い毎日が続いています。どうぞご自愛ください。

山林コースの方には先日、今年度1回目の農産物の発送をしました。ご意見、ご要望等ありましたらご連絡ください。



山林コース
宮園 佐津美

山村塾 * 活動レポート

中長期個人型ボランティア

…1か月以上の期間、笠原に滞在しながら活動するボランティアです。

健太さん

5.15～6.12

MJさん

4.17～5.27

えりさん

5.22～6.19



この春は3名のボランティアが活躍しました。それぞれ約1ヶ月間、お茶の収穫手伝い、草刈り、田植えの準備、ヤギの世話、イベント・研修受入れなどのサポートを行いました。

／＼活動中！／＼

ナタリーさん
from フランス
6.5～



4年ぶりに、海外からボランティアが参加しています。ナタリーさんは6月から11月までの半年間活動予定です。一緒に活動する機会もたくさんあると思います。よろしくお願いします！

ボランティアの活動レポートは、
ブログで発信中です！
<https://egaonomori.exblog.jp>



CSO ラーニング制度 インターン生 活動中です

「CSO ラーニング制度」は、SOMPO 環境財団が主催する、大学生・大学院生が全国各地の環境NPO・NGOにインターンシップする制度です。九州・福岡地区では今年度から初めて開催され、山村塾は受け入れ団体の一つとして参加しています。

山村塾では、大学院生の船戸祭さんがインターン生として、6月から来年1月まで活動します。行事などでご一緒する機会があるかと思います。どうぞよろしくお願いします。



通常総会を開催しました

5月28日に、えがおの森にて山村塾の第10回通常総会を開催しました。総会の前後には、黒木町林業振興会の見学会参加や懇親会も行いました。

こんにちは。合鴨・純米酒が大好き、稻作コースの石津より、総会とその前後についてのレポートです。

総会前の午前は、林業見学会。間伐やそこで使う高性能林業機械3台の説明と実演がありました。ネット動画で見たことはある、伐倒した杉をハーベスターが玉切りする実演は迫力満点の感動モノでした。次回は是非伐倒も見てみたいな。しかし、エンジン音がうるさい。最近は建設重機も電動が出始めたので、林業機械もその流れになればいいかな。間伐なら可能かも。

総会では、山村塾発起人の一人・レジェンド毛利さんの貴重なご意見を始め、色々考えるきっかけとなる質疑がありました。今後の山村塾が社会から期待されるパフォーマンスの高さも実感しました。活動会員の方がより参加され色々な意見交換ができると相互にいいなと思います。

総会後はお楽しみの懇親会。えがおの森の特製窯で焼いたピザは美味。多彩なトッピングや特製スープもあり、準備の方々に感謝です。頭も胃袋（飲めませんでしたが）も満足して、笠原の県道を下りました。（石津 和紀）



林業見学会にて



総会は会場とオンラインで開催しました

*総会はどなたでも参加できます

日帰りボランティア

今年度も引き続き、平日に日帰りボランティアを実施しています。

4月～7月の期間に計11回開催し、延べ36名の方々に参加いただきました。畠の管理、田んぼの管理（補植・草取り）、ラッキョウ・梅の収穫、下草刈りなどを行いました。おかげさまで、ラッキョウ漬けづくりや田んぼ仕事が順調に進んでいます。ご参加ありがとうございました！

►8月以降も、月に2回ほど（主に第2・4水曜日）活動を予定しています。詳細はホームページをご覧ください。



らっきょう収穫

田んぼの草取り



その他の活動報告

日付	活動内容	会員	一般	WC	スタッフ	計
3/25	チェーンソー基礎講座 基礎編	1	3	0	4	8
4/8	チェーンソー基礎講座 レベルアップ編	0	1	0	4	5
4/9	全体行事「顔見せ会」	37	0	0	11	48
4/30	草刈機講習会	2	0	1	1	4
5/20・21	里山ミニワーク 「棚田の草刈り」	5	1	2	3	11
5/28	通常総会	10	1	2	7	20
6/17	棚田米プロジェクト 田植え	4	1	2	4	11
7/16	チェーンソー基礎講座 夏 基礎編	1	1	0	2	4
7/23	チェーンソー基礎講座 夏 レベルアップ編	2	1	0	2	5



初心者向けの
チェーンソー講座を
開催しました。

7/16 チェーンソー基礎講座

山村塾 今後の予定

日程	行事名
8/20 (日)	稻作コース「鴨の引き上げ」
8/26 (土)・27 (日)	里山ミニワーク「棚田の草刈り」
9/3 (日)	稻作コース 「田の草取り・草刈り③」
9/18 (日)	唄って踊って味わう八女茶山
10/7 (土)・8 (日)	稻作コース「稻刈り①・②」
10/15 (日)	山林コース「枝打ち」
10/28 (土)・29 (日)	全体行事「鴨さばき①・②」
11/11 (土)	収穫祭準備
11/12 (日)	全体行事「収穫祭」
11/26 (日)	山林コース「森の手入れ(除伐)」
12/3 (日)	稻作コース「しめ縄づくり」

►行事および里山ミニワークの開催については、状況に応じて随時判断します。最新情報はホームページ、メールニュースにてご案内します。

※イベント情報のご案内を、FAXや郵送で希望される方は、事務局までお知らせください。

2023年度年間予定表
ダウンロードはこちらより→



事務局より



会員募集中！

- NPO 会員：山村塾の趣旨に賛同し、会員として私たちの活動を継続的に応援してくださる NPO 会員を募集しています。総会での議決権を持つ「正会員」と、議決権を持たない「賛助会員」があります。
- 活動コース会員：いっしょに田んぼや山で働く活動コース会員（稻作・山林、稻作、稻作 30kg、山林、古里）をいつでも募集しています。

ご寄附のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄附で支えられています。山村の暮らしに学び、山村の環境を守る取り組みに、ぜひご協力をお願いいたします。

【山村塾は「認定 NPO 法人」です】

山村塾へのご寄附は、確定申告することで寄付金控除の対象となります。

▶ ご寄附の方法

■ 郵便振込口座から

加入者名：特定非営利活動法人山村塾
口座番号：01790-3-169398

■ 銀行から

- ・銀行名：ゆうちょ銀行 店名：一七九（店番：179）
口座：当座 0169398
- ・銀行名：福岡銀行 黒木支店
口座：普通 1085398

特定非営利活動法人山村塾 理事長 小森耕太
※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所
またはメールアドレスをお知らせ下さい。

■ 農産物を買う

会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割がヤマヤマ基金へ入ります。

■ 古本で寄付ができます！

古本や DVD を「きしゃぽん」にお送りいただくと、買取金額が山村塾への寄付となります。ぜひご協力をお願いします。（古本集荷依頼 TEL：0120-29-7000、山村塾に寄附したい旨をお伝えください。）

会員状況（2023年6月末時点）

▶ NPO 会員

- 【正会員】 個人：32 名、団体：4 団体
- 【賛助会員】 個人：81 名、団体：2 団体

▶ 2023 年度活動コース会員

稻作・山林：5 名、稻作 22 名、稻作 30kg：15 名、
山林：14 名、古里：8 名

▶ 笠原棚田米サポーター

80 名（個人 77 名、企業・団体 3 名）

寄附者（2023年3月～2023年6月）

▶ 個人からのご寄附

2023 年 3 月 1 日 から 6 月 30 日 までに、29 件 379,594 円のご寄附を頂きました。

▶ 企業・団体からのご寄附

- ・古本募金きしゃぽん様を通じてご寄附をいただきました。（5/26：2,898 円）
- ・KDDI 株式会社九州総支社様から社員参加型の社会貢献活動「+ α プロジェクト」を通じて、351,520 円のご寄附を頂きました（7/31）。棚田や森林の保全に役立たせていただきます。

山村塾メールニュースのご案内

山村塾の活動や、イベント情報等をお知らせするメールニュースを、月に 2 回程度配信しています。どなたでも登録可能です。配信希望の方は事務局までお知らせください。

※登録したけれど届かないという方はお知らせください。

※ホームページにも過去の配信内容を掲載しています。

山村塾の SNS 発信中

Facebook



Instagram



メールニュース
バックナンバー



編集後記

7 月号の発行が 8 月になってしまい、大変お待たせいたしました。

この夏は国内外から高校生や大学生が笠原に集う機会が多くて、とっても賑やかです！溶けそうに暑い夏ですが、どうぞご自愛ください。（原）

暑いですね



＼お問い合わせ大歓迎！／



山村塾 認定 NPO 法人 山村塾

〒 834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL・FAX 0943-42-4300

Email : info@sansonjuku.com HP https://sansonjuku.com

FB @ sansonjuku Instagram @sansonjuku_official

発行者：小森 耕太

編集者：原 愛子

※山村塾は認定 NPO 法人です。山村塾へのご寄附は寄付金控除の対象となります。

最新情報はホームページより

山村塾

検索

